

維新断罪

中小企業社長が喝破する、
大阪の沈みゆく理由と再生私論

日本城タクシー社長
坂本 篤紀
Sakamoto Atsunori

せせらぎ出版

せせらぎ出版がこの本を出版したのは、このままでは大阪が完全に壊れてしまうとの危機感からです。行政サービスは著しく低下し、教育現場はすさまじい、命を失うリスクは高まり、中小企業支援が激減していることもあって、経済は長期にわたり伸び悩んでいます。

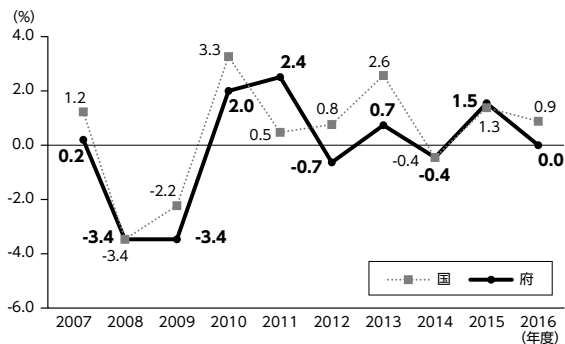
大阪維新の会は「大阪の成長を止めるな！」と謳ってきましたが、それはまったくの嘘です。(図1)に見るとおり、全国の経済成長率を下回り、すでに「成長は止まっている」のです。

維新政治のこうした問題点を多くの人と共有し、どうすれば大阪を再生できるかを一緒に考えるきっかけにしたいと願い、本書を発行しました。

そのために白羽の矢を立てたのが、日本城タクシーの社長である坂本篤紀さんです。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、坂本社長は朝鮮学校の生徒たちがヘイトスピーチにさらされているのを見かねて「ヘイトスピーチ、許さない」というステッカーを自社のタクシーに貼ったり、コロナ禍で経営が厳しくなったときに、社員の給料をねん出するため、所有していた観光バスを売却したり、弱い立場の人たちを守る取り組みの先頭に立ってきました。また、TBSの生放送で橋下徹さんとバトルを繰り広げたことで注目されました。決して口調は上品ではありませんが、その心意気は敬服させられます。

図1 大阪府と全国の経済成長率の推移 (実質 GDP。前年度比)



出典：大阪府統計課「大阪府民経済計算」
(2020年度発行)

本書には主に次のような論点を記述しています。

- 公務員の削減によって、新型コロナウイルスの死亡率が全国ワーストワンになったこと
- 大阪IR・カジノ計画が抱える大きな問題の数々
- 大阪の実体経済が損なわれ、庶民の暮らしや商売が壊されてきたこと
- 消費税導入以来、日本は貧しくなり、それが社会の分断の温床になっていること
- 一方で、大阪維新の会のお友だち企業が「中抜き」で稼ぎを奪っていること
- そして、大阪を、日本を再生するには何をすればいいか

坂本社長はもちろん学者ではありません。

その発言はいたってシンプルです。

「普通に考えたら、おかしいやろ」

「早く現実に気づかなあかん」

「働く人の給料をあげたらええだけやん」

本書で坂本社長は庶民目線で読者の皆さんに呼びかけます。

維新政治を選ぶのも、NOを突きつけるのも、最終的には皆さん一人ひとりです。

本書がいまの大阪の政治や行政を一緒に考え、見直す一助になれば幸いです。

2023年2月14日

株式会社せせらぎ出版

コミュニティ・パブリッシング事業部

目次

はじめに	2
第1章 大阪が新型コロナウイルスの死亡率で ワーストワンになった理由	11
橋下徹とバトルするタクシー会社社長の登場	12
吉村大阪府知事の胸のエキスボマークの違和感	16
ヘイトスピーチ反対のステッカーを車に貼りだした理由	20
ヘイトスピーチ反対は大阪維新の会嫌いにつながる	23
公務員バッシングのピークを作った人、橋下徹	24
国鉄や郵便局が民営化されたその後	28
大阪が新型コロナウイルスの死亡率でワーストワンになった理由	31
第2章 大阪IR・カジノが実現すれば地盤は沈む。 大阪の夢も希望も沈んでいく	37
大阪の道路の白線はかすれて薄いという事実	38
空から自動車の部品が落ちてくる	42
元々は都構想、大阪万博、カジノは一緒に実現する計画だった	47
どんどん大阪市や国の公金が使われていく	50
黒字化するのは30年後。民間では考えられない事業計画	54
夢洲の土壌は想像以上に軟弱だった	57
地盤を改良せよ。カジノ事業者が大阪市へ要求	61
恐ろしくずさんな収支計画	64
審査委員の中に土壌の専門家がいらないという不安	66
夢洲のカジノは巨大なパチンコ店になる	70

本当の恐ろしさは、大阪を犯罪の匂いにする街にすること	74
大阪IR株式会社に名を連ねているお友だち企業が儲かる仕組み	80

第3章

クリエイティブ・クラス論は、

庶民を本当にしあわせにするのか？	83
------------------	----

子どもに米10キロを配る。それは誰の支援か？	84
お友だち資本主義を止めさせよ	88
メディアを恫喝し、萎縮させる	91
著者自ら失敗と認めたクリエイティブ・クラス論	92
「まちづくり方針2022」が実施されると地域の商店がどんどん淘汰される	96
ライドシェアという終わったビジネスモデルをいまだに提唱	99
实体经济が社会を支えているという事実をスルーしてはいけない	103

第4章

どこに消えたのか？

消費税は社会保障の財源になっていない	113
人類の目的をコストで判断するところから社会の不幸が始まる	114
需要と供給のバランスが崩れた日本に必要なこと	116
安定雇用を奪う性質をはらんでいる税金が消費税	119
消費税は社会保障の財源になっていない	125
消費税廃止の前に立ち塞がるもうひとつの壁	131
社会保障制度をもっとうまく展開していく方法	135
小ぎれいな街に変わっても庶民の仕事が奪われるだけ	107
昔の米屋の大将はクラウンに乗ってゴルフへ行っていた	111

大阪が
新型コロナの死亡率で
ワーストワンになった理由



第5章 大阪を、そして日本を

立て直す手立てはどこにあるのか？

139

おかしいことはおかしいと怒ろう

140

所得倍増は安定雇用から

143

セグウェイはどこへ消えたのか？

146

取り戻せ、商人の街

148

橋下徹とバトルするタクシー会社社長の登場

——今日は坂本社長に大阪維新の会の問題点やどうすれば疲弊している大阪が再生できるかについて、いろいろと質問させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。はい、なんぼでも聞いてください。

——坂本社長はテレビ番組で橋下徹さんとバトルとなったことで注目が集まったわけですが、どっついつ経緯で出演することになったのですか？

コロナ禍になって、みんな自粛を強いられて、旅行どころでなくなると我々のバスの仕事もなくなったわけですよ。

——坂本社長はバスとタクシー会社を経営されていますね。

そう。だから仕事がなくても社員を食わせていかなあかん。持っていたバスを売却

したり、ベビーカーカステラを焼いて売ったり、ない知恵を絞って金を稼ぐことに必死になっていると、その姿があるテレビに取り上げられて、それを見た「報道1930」のディレクターが、苦しんでいる経営者の代表として僕を呼んだんやね。

——そこで橋下徹さんとバトルになったわけですね。

橋下徹が勝手な意見を言いだすわけよ。PCR検査をしたらあかんって言うんやね。今でこそ標準になったけれど、PCR検査をして、陰性の人を外にでて経済をまわして、陽性の人の分をカバーしたらええだけの話なんや。それだけの話なのに、PCR検査をしたらどうのこうのと、させへん屁理屈をガタガタ言うわけよ。それで僕が反論して都合が悪くなると論点をすり替えよる。これは言うておかなあかんと思ってやね。

——どのようなことをおっしゃったんですか？

政治として何をしなければいけないかって松原耕二さんが振ってくれた。僕は一向に

学ぼうとせえへん姿勢に恐怖を感じていうって言った。1波、2波、3波ってコロナウイルスが襲ってきたのに、全然学べへんから何の対策もできひん。あの番組は生放送やからカットされなかつたけど、福島原発も例にあげて、10年経って結局、トリチウム汚染水を海に捨てるっておかしいやろと。その間に何らかの対策も開発もできたはずやん。オリンピックの金を全部それに使ったらできたはずやんか。

——オリンピックの金を福島原発対策に使うことなんてできるんですか？

できるもできないも、何がいちばん重要かと考えたらええだけの話や。オリンピックをするより福島原発の放射能をなんとかするほうが、日本のため、そして世界のためになることくらい誰でもわかると思うよ。

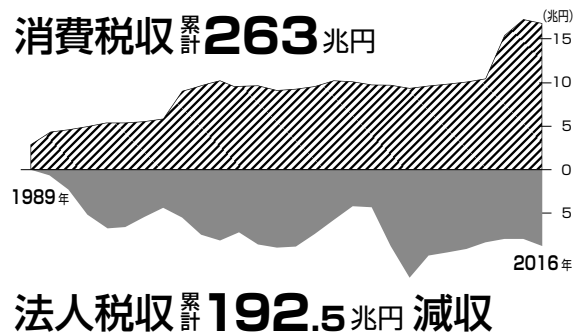
——坂本社長がおっしゃる、学ばなくなつた弊害ですな。

そう、だから同じ失敗を繰り返すんやね。番組の中でも、コロナ禍も10年後には48

波くらいきてるんちゃうかって言うたわけ。みんな普通のことを普通に言えへんよね。消費税も貧乏人から巻き上げて金持ちへ持って行くだけやん。だつていままで巻き上げた消費税を法人税減税の穴埋めにつかっているんやもん(図2)。いろんなところで当たり前の議論をしてへんから日本社会がダメになつていつてるのに。

図2 消費税収と法人税収の推移

(財務省一般会計税収の推移より、れいわ新選組が作成)



消費税収が増える一方で法人税収は減っていきました。

吉村大阪府知事の胸のエキスポマークの違和感

——番組で坂本社長が、吉村大阪府知事の胸に付いているエキスポマークのことをおっしゃったときは痛快でした。

コロナ禍のときはタレント並みにテレビ出演して、頑張っている姿を懸命にアピールする一方で、おばあちゃんにコロナ禍やから病院行くのは控えてな、手術は待ってなってお願ひする。せやけどその吉村知事の胸に、「EXPO2025」のマークが貼ってある。おかしいよね。辻褄が合わぬ。

——社長の発言はけっこうインパクトがありました。番組では橋下徹さんがいつものように持論を展開する。それに対して「お前はアホちゃうか」って、庶民が思っていることをズバツと口にする人が現れた。

橋下徹にそう言う人ってあまりいないみたいやね。

——みんなが心のどこかでそう思っていたはずなんですが、言葉にする人がいなかった。坂本社長がズバツと喋ってくれたおかげでみんながそうなんだって気づいた。大阪維新の会も痛いところを突かれました。

説得力もなんもあらへんわね。何の対策もせんと通天閣の色を変えてるだけ。みんなおかしいと思ってる普通の気持ちを取り戻した瞬間かもしれんね。僕が受けたんやなくて、みんなが普通を思い出した瞬間やね。普通を思い出してほしいよね。

——そうなんです。

橋下徹はキャンキャン言って、人を論破するために生まれてきたような人。論点をそろしても自分を優位に見せようとするためにためらいもない人なんやね。一番にあるのは庶民ではなく自分。しかし口が立つように思われているから、なかなかそれに反発しようという人がいないわけですよ。

——坂本社長のように民間の一経営者で、一歩引いて、俯瞰したところから「あんたおかしうぞ」「つう感じ」で反論したのが爽快つうか、みんな胸の内がすつとして視界が開けたんですよ。

それと大阪維新の会のメディアを抱き込むやり込み口も感心はできひんよね。東京でも同じことが起きている。某大手広告代理店の悪口を言えばめっちゃめっちゃ干される。いまだに萩生田が国会議員としておられるのは普通におかしいのに、みんなおかしいと言えへんよね。

——そうですね。

でも橋下徹はせいこいね。収録の前に、スタッフから僕のところへ電話をさすねん。坂本さんはテレビにでていいるから公人ですね、橋下徹さんがそう言ってきましたよって、出演の前に言うわけよ。

——そんなことがあったんですか？

公人っていうことは名誉毀損に問うぞっていうことを暗に言って、出演の前にプレッシャーをかけてくるわけよ。僕にでもするから他の人にもやってるんやろな。

——気の弱い人ならビビりますよな。

僕なんか何ぬかすんやと思つてね。だからこう言うといってくれて、安倍昭恵は私人で、オレは公人かと聞いとけつて返したんですよ。

——さすが坂本社長。

次の日の当日にもまた電話がかかってきて、昨日の電話が脅したようにとられたら失礼だから本日の番組では全力を尽くしていきますよってわざわざ連絡してくる。弁護士が何に全力を尽くすんやつて思うよね。口げんかのプロやと思とんのんかな。僕なんか子どもの頃からいらんこと言うなつてさんざん言われて育ててきたから、負ける気はぜ

んぜんせえへんねんけどな。

ヘイトスピーチ反対のステッカーを車に貼りだした理由

——もうひとつ、坂本社長は自社のタクシーにヘイトスピーチ反対のステッカーを貼りだしたことも有名になりました。そもそもそのきっかけは？

ヘイトスピーチのステッカーはメディアへの批判。メディア批判っていうとアメリカのトランプ前大統領みたいでイメージが悪くなりそうやけど、在阪メディアは酷いわ。右翼かなんかしらんけど、朝鮮学校の前へ行つて、でてこいつてやってるわけやんか。小学生相手に吠えまくってる。それをメディアが放置している。見て見ぬふりをしてるんや。

——普通に考えて、大人が小学生を相手に凄んでいるのって相当格好悪くて情けないですよ。

最近では統一教会のおかげで、「愛国」と言われている人たちが実は純粋な「愛国」やなくて、職業愛国者やったってわかってきたと思うんやけど、その当時は年いかぬ若い子に「鶴橋大虐殺」をするぞって凄んでいたんやからね。誰かが何かをせなあかんよ。

——そのとおりです。

そんなときに法務省が「ヘイトスピーチ、許さない」というポスターを作ったという話を聞いたんや。それで僕は法務省へすぐに電話して、このデザイン



坂本社長の経営する日本城タクシーのリアガラスに貼られたステッカー

を使ってええかと直談判した。あかん言うても使うで、あとで訴えられても結構やって言うて。

——それって直談判じゃなくて脅迫かも(笑)。

それくらいの意気込みやったということ。それから同じ柄のステッカーを作って車に貼ったんや。車内に貼ったら思想信条の強要になるけど、外に貼ってたら、タクシー乗っているお客さんがわざわざ降りて見に行くこともない。

——それで自社のタクシーに貼るようになったんですね。

そう。やっぱり誰かが何かをせんと、どんどん苦しい世の中になっていく。実際に弱い人が住みにくくなってきてるやん。あんなにみんな中流やと思っていたのに、ふと気がつくくと、みんな貧乏人になっていた。そんな現実には早く気づかんと。もうすでに手遅れの域に来てるかもしれんけどな。

ヘイトスピーチ反対は大阪維新の会嫌いにつながる

——「ヘイトスピーチ、許さない」ステッカーはすばらしい実践と尊敬しますが、それがどうして反大阪維新の会へ？

ヘイトスピーチを許さないというのは人間として当たり前のこと。ヘイトスピーチを繰り返して誰かがしあわせになるはずがないやん。一方で大阪維新の会の根底にあるのは、自己責任なんですよ。ヘイトスピーチされている弱い立場の側になんの責任もないのに、大阪維新の会の言い分でいくと……。

——言われるほうにも問題があるとなるわけですね。

そう。普通に考えるとおかしいことやのに、そんな単純なことをみんながわからんようになってきているんですよ。長谷川なんかとかという元アナウンサーが透析を受けなければいけない人は自業自得やから、それに医療費を使うのは無駄で、医療費を食い荒ら

すってとんでもないことを言いだすわけよ。

——その論理、わけがわかりませんよ。

そう、普通感覚があればそんなアホなっと思うけれど、最近の日本のように、みんな生活が苦しくなってくると、病院の窓口で医療費を1万なんぼ払ったときに「？」と思う人が現れるわけ。そんな人をうまく食いもんになっている大阪維新の会のやり口が気に入らんわけだね。

公務員バッシングのピークを作った人、橋下徹

橋下徹が政治シーンに初めて登場したのが大阪府庁。2008年やね。ちょうど公務員バッシングが盛り上がり上がったときにでてきて、ピークを作った人ともいえる。

——労働組合とか、河川管理の現場や清掃工場などの現業職の方々へのバッシングはあつたって聞いています。

マスコミが大阪市の職員のことを取り上げ始めたのは、平松邦夫市長や、その前の關淳一市長の頃から。スーツをもらっているとか。

——スーツの件は覚えています。胸ポケットの外がたに「大阪シティ」って文字が刺繍されていて、ポケットの内側に折り込めただのスーツにしか見えないとかで、大阪市の職員は制服じゃなくてスーツをもらえるのかとバッシングのシンボルのようになりました。

職務以外の、本筋とは関係ないことをマスコミが取り上げだして、公務員は楽をして、いい目をしているというイメージが広がったんやね。

——そう思っていました。

なんでやねんな。あんたらは若いから知らんかもしれへんけど、昔は、公務員は安定